関西大学初等部との "みお筋づくり"

みお筋づくりは、関西大学初等部5年生の総合的な学習に芥川倶楽部が協力する形でスタートしました。小学生が自ら考え目的意識を持って川づくりに取組みます。事前に川づくりの基礎知識に関する情報を収集し行動計画を立てて6月17日に“第1回みお筋づくり”を実施。5年生約80人と一緒に、川原に繁茂したオオカワヂシャ、オランダガラシなどの外来生物駆除とみお筋づくりを行いました。

現地での活動は、知識だけで作った行動計画のようにはいかない所もあり、もう一度やってみようという事に。そして、『多様な生き物がすめるための川づくりの活動を検討しよう』という目標を掲げて川へのアプローチについての話し合いを行うなど準備万端の状態でみお筋づくりに臨みました。

9月18日の第2回みお筋づくり活動は、既存のみお筋を掘り下げ、石でミニ水制を設けて単調な流れを多様にする、ワンドをつくるなど、各グループ、個人が役割分担を決めて、それぞれが現地で考えながら活動していることを実感しました。与えられた作業ではなく自分たちで作った計画を実践することで子ども達が芥川の自然に関心を持ち、より芥川が身近な存在になったと思います。子ども達の中からリーダーが育ってくると最高です。

～第11回クリーンアップ大作戦～

天然のアユが遡上する前に“大掃除”を実施します！
清掃活動後は、おいしいまかないつき！
みなさんの参加をお待ちしています。

平成28年 3月26日（土）10時～（小雨決行）

集合場所

下の地図の①～⑥の各地点
●6箇所のうちご都合のいい所へお越し下さい
●④の解散場所は津之江公園になります

※雨天中止の判断は、当日、午前7時に行います。
情報は『芥川倶楽部ブログ』http://akutariv.blog85.fc2.com/ に掲載します

～平成２８年度　事業のお知らせ～

今年度も芥川を中心に様々な活動を行っていきます。活動にぜひご参加ください。

４月	唐崎わんど観察会（23日）
６月	あくあぴあ　ふれあいフェスタ（４日）
７月	定期総会（2日）
	お父さんのための魚とり講座（23日）
１０月	アユの産卵場整備（２２日）
１２月	ミズヒマワリ駆除作戦（3日）
３月	芥川クリーンアップ大作戦（18日）

～芥川でアユを見つけよう！　ボランティア大募集！！～

５年前に芥川大橋上流の堰に魚みちができて、平成24年１万匹、25年6,300匹、26年2,300匹、27年6,800匹ものアユが芥川をのぼっています。今年もどれだけ多くのアユがのぼるのか、みんなで調査を行います。事前に説明会もあるので、初めてのかたでも大丈夫です。多くのみなさんの参加をお待ちしています。高槻の街なかで天然アユを見つけましょう。

調査期間：5月１５日～7月１５日
　　９：００～１５：００
調査場所：芥川大橋上流の堰の魚みち
　　（高槻市芝生町2丁目地先）
調査方法：ボランティア調査員2名で魚みちを通過する魚を目視でカウント
応募条件：ボランティア保険に加入
　　（費用：主催者負担）
問合せ　：茨木土木事務所　地域支援・企画課
　　（TEL:072-627-1121）

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントに一緒に参加してくれる方を募集しています。
イベント等の情報は下記の芥川倶楽部ブログにて、紹介しておりますので、ぜひご覧ください。
ブログ:http://akutariv.blog85.fc2.com/　　HP :http://akutagawaclub.web.fc2.com/
e-mail : akutagawa0726@yahoo.co.jp

～～～「芥川」はみんなの川です 「芥川」をきれいにしましょう ゴミを捨てないようにしましょう ～～～

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより

Vol.24
2016年
春号

ミズヒマワリ駆除大作戦を実施しました　12月5日

特定外来生物「ミズヒマワリ」は繁殖力がとても強く、日本に昔からある植物の育つ場所を奪うなど、生態系に大きな影響を与えます。
今までの駆除活動で、上流から城西橋までは、ほとんど見られなくなりました。
２０１５年度のミズヒマワリ駆除大作戦の会場は女瀬川と芥川との合流域です。
芥川倶楽部、市民会議水グループ、関西大学、摂南大学の学生、高槻市、大阪府の総勢５３名が津之江公園に集合し、女瀬川と下流の芥川との合流域の二手に分かれて作業を行いました。比較的水深が浅く安全が見込まれる女瀬川は、女性が中心です。
芥川との合流域は広範囲に広がっており、又水深が深い所もあり、安全対策として紅白ボールで仕切ったり、ボートを利用しての運搬を行いました。何れも胴長を履いて行う大変な作業です。
この付近は釣りを楽しんでいる市民も多く事前に釣り人への告知も行いました。今回は予想以上にミズヒマワリが広範囲で大量に繁茂していた為、予定していたネット袋に入りきらない分はトラックに直に積み運搬するほどでした。当初予定していた場所の下流部で駆除できなかった所もありましたが、みなさんの頑張りで大きな成果がありました。
駆除したミズヒマワリの量は８７０kgです。

編集・構成　芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部～
事務局：NPO法人芥川倶楽部　ホームページ　http://akutagawaclub.web.fc2.com/　ブログhttp://akutariv.blog85.fc2.com/
平成28年（2016年）3月　発行：　高槻市　都市創造部　下水河川企画課　TEL　072(674)7432
●芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは河川協力団体（国（近畿地方整備局）第2号）に認定されています●

「芥川・原の自然と歴史を歩いて学ぼう」を開催しました

11月14日

１１月１４日、高槻の原をフィールドにウォーキングイベントを実施しました。今回のウォーキングイベントは、豊かな自然や歴史をもつ原を歩き、魚や鳥、植物などの自然 だけでなく歴史・文化、地元の暮らしなどにも目を広げてもらうことを目的に開催しました。

朝からあいにくの天気でしたが、受付の頃には雨も上がり、うす曇の中でのスタートとなりました。参加者は、一般参加、パナソニック松愛会、新川姫蛍 と花を守る会にス タッフも含め約40名でした。

原公民館を出発し、牛地蔵、山沿いの水路、多見堂、八阪神社などをめぐって再び原公民館に戻ってくるルートです。途中ガイドが地元にちなんだ歴史や自然催しなどを説明すると、参加のみなさんは写真を撮ったり、メモを取ったり質問したり、とても熱心に聞いていました。

原公民館は昔清水小学校の分校として使用していた校舎です。公民館の広間では地元の松愛会のOBの方から、原の歴史にまつわる話や小さい頃の昔話などを語ってもらいました。語り部の話に懐かしさを覚えうなずく場面も見られ、当時の学校の様子などの質問もありました。

お昼には、大阪府茨木土木事務所より提供された災害非常食を食べていただきました。今回はプラスアルファの具材も豪華。温かいお茶と昼食を食べながら午前中の散策を振り返っていました。

昼からも、かつての寒天小屋の前で寒天作りが盛んだったころの説明のあと、千原橋をめぐって最終上のロバス停まで歩きました。ちょっと雨に降られる場面もありましたが、晴れの日では感じられない秋の日の田園風景を堪能してもらえたのではないかと思います。

アンケートでは、「ただ歩くだけではなくガイド付きなのでさまざまな発見もありよかった」、「駅から少し離れたところにこんな自然の残った場所があることがわかった」などの意見ももらい、芥川、 高槻の再発見につながったようです。

来年度以降もこのような自然や川、歴史を感じながらの散策イベントを行っていきますので、ぜひご参加ください。

アユの産卵場整備＆魚みちメンテナンスを行いました

10月17日

今年も、アユにたくさん卵を産んでもらうため、川底を耕して産卵場の整備を行いました。当日は秋晴れで、きれいに澄んだ芥川は、とても気持ちがよかったです。

芥川倶楽部や関西大学の学生など総勢36人が城西橋上流に集合。ここは以前にアユの卵が見つかった場所です。産卵場整備の目的と内容について説明を行い、みんなで胴長を着て作業を開始しました。

アユが卵を産むのは、流れが速く、川底に数㎝程度の小石や砂利がたくさんあり、小石と小石の間が泥などで埋まっていない「水通し」の良い、ふわふわの川底です。芥川の川底はガチガチに締まっていて、産卵に適している場所があまりありません。そこでみんなで熊手、スコップ、クワなどを持ち、川に入って畑を耕すように川底を混ぜました。

その後、JR下流魚みちに移動。ここでも、みんなでスコップを持って土砂を取り除きました。大きな石は、横に確保しておき、土砂を取った後で、魚みちに戻します。すっかり土砂を取り除き、壊れた個所も土のうで応急修理をして魚みちの機能が回復しました。

作業の後は、投網で魚を捕獲しました。とれたのは、コイ、ニゴイ、カワムツ、オイカワ、モツゴ、メダカ、カマツカ、カワヨシノボリの8種類で、アユは採れませんでしたが、阪急鉄橋上流で20尾くらいの群れが確認できました。このアユが下流に移動せず産卵まで残っていてくれたら、整備した場所で産卵することも期待できそうです。

たかつきエコフェスタ２０１６に参加しました

1月15日･16日

毎年恒例のエコフェスタが開催され、参加した12団体の活動展示、小学生の水辺活動の紹介、工作コーナーで物作り体験などでにぎわいました。

芥川倶楽部は、たかつき環境市民会議水環境保全グループと共同で、パネル展示、機関紙や行事案内チラシ配布のほか芥川の魚１６種の水槽展示、タナゴが産卵する貝３種の実物展示、ゲンジボタルの幼虫と餌のカワニナの実物展示で芥川の生き物の豊富さと水がきれいであることを市民のみなさんに実感してもらいました。牛乳パックを使ったサイコロ工作は、大人から子どもまで多くの参加があり、一つで赤色と青色の２種類のサイコロを作ることができる作品を完成させた後は、組み合わせを楽しんでいただき、好評でした。

クイズラリーの問題は「芥川の長さは50km」、正解は約24kmで×、もう1問は「芥川にかかる橋の数は30以上」で、正解は鉄橋なども合わせて３３本なので○。知らない方が多く芥川雑学を増やしてもらえました。

津之江公園で環境学習を行いました

11月4日

津之江公園内に整備された自然再生エリアの成り立ちや、そこにたくさんの生き物が生息・生育していることを知ってもらうため、津之江公園の近隣小学校の児童を対象に環境学習を行っています。

今年は津之江小学校の３年生６３名と一緒に、バッタを採集し、その後つかまえたバッタの飛距離を競うバッタオリンピックを行いました。開催が１１月になってしまい、バッタがいるか心配していましたが、当日は気候もよく、この日採集したバッタは、ショウリョウバッタやトノサマバッタなど１２種類で、約１３０匹でした。

その後は、班に分かれてバッタオリンピック。たくさん飛んだ班では歓声がわき、時間がくるまで何度も飛ばして記録に挑戦しました。今年は、トノサマバッタの１５．９mが最高記録でした。バッタがこんなに飛ぶとは思っていなかったとびっくりしている児童もいて、新しい発見ができたようです。バッタ採集が初めての児童もいて、身近な自然にいろいろな生き物が生息していることを知ってもらう機会になったのではないかと思います。

～～芥川アユ流下仔魚調査の３年間の報告～～

摂南大学理工学部　都市環境工学科４年生　三渕貴大

摂南大学では、2013年から現在までアユ仔魚調査を行いました。調査は芝生大橋下で行っており、10月から12月までの３ヶ月間の夕方から夜に、河川の右岸側，中央部，左岸側の３箇所にプランクトンネットを一つずつ設置し、1時間ごとに引き上げ、その場でサンプルを5%ホルマリンで固定した後持ち帰り、実体顕微鏡を用いて同定しています。2013年は18時～20時に調査を行いました。11月8日に初めて流下仔魚が確認され、2013年は合計69個体確認することが出来ました。

アユ仔魚（約11mm）

2014年は17時～19時に調査を行いました。初めて流下仔魚が確認されたのは12月9日で、2014年の合計は６個体と残念ながら少ない結果となりました。

仔魚調査の様子

2015年は20時～22時に調査を行いました。初めて流下仔魚が確認されたのは10月22日で、これまでに比べると早い時期に確認出来ました。最後に確認されたのは12月4日でした。2015年は合計65個体確認することが出来ました。3年間の結果から、芥川では10月下旬から産卵が始まり、11月上旬から12月上旬まで孵化したと推測されます。